

組 織	会 長	加藤 久夫	(東成瀬小)	
	副会長	三浦 秀巳	(羽後明成小)	
	事務局	仙道 真理子	(山田中)	井上 晴子 (西馬音内小)
	研究部	長雄 義明	(雄勝中)	佐藤 秀実 (稲川中)
	幹 事	池田 亜紀	(三梨小)	
	会 計	鈴木 陽	(湯沢東小)	

## 主な事業

郡市教育研究会総会 研究テーマ、活動計画、今年度役員の確認 (湯沢北中学校／4月11日)	郡市一斉授業研究会 (雄勝中／9月10日)
秋田県児童生徒美術展地方展開催 (広域交流センター／11月15日～17日)	会誌「このゆびとまれV o 1 . 1 9」 製本・発送 (湯沢北中／1月30日)

## 研究会の記録

### ◎秋田県児童生徒美術展湯沢雄勝地方展より

総出品数 293 点 (小学校 205 点・中学校 88 点) のうち、89 点を本郡市の入賞作品として県に推薦した。以下に今年度の審査講評からの特記事項を抜粋する。

- (低学年) 身近な題材から発想を広げ、クレヨンや色鉛筆のよさを生かして効果的に描いている作品が多く見られた。
- (中学年) 描きながらどんどん想像の世界を広げている絵が多く、元気さを感じる作品が多かった。コラージュや版画の技法で表現した作品が目をつけた。
- (高学年) 発色の優れた版画作品やモダンテクニックを生かした作品が目立った。自分の思いを表現する方法としてデッサンの正確さや細部までの描き込みが効果的である。
- (中学校) 主題設定が明確に行われた作品が多く、生徒自身の今の気持ちに沿った主題が伝わった。水彩画では色の強さを効果的に取り入れる表現方法を工夫させたい。



### ◎郡市一斉授業研究会

授業者：教諭 長雄 義明 (雄勝中学校・3年)  
 題材名：形と色彩の挑戦 ～抽象的な表現の探求～  
 指導者：雄勝出張所指導主事 高橋 聖子 先生  
 報 告：教諭 井上 晴子 (西馬音内小学校)

～第 64 回東北造形教育研究会での実践発表の報告



生徒にとってモンドリアンの作品は初めての抽象表現だった。鑑賞活動の導入として、生徒は付箋を使って「音」を表現する活動を行った。自分の考えを自由に試し、試行錯誤することで作者の気持ちに迫ることができた。形と色にしっかり着目させることは新学習指導要領の必須項目である。個の意見を交流するグループ活動などを取り入れることにより、生徒同士の対話が深まる。「モンドリアンが表したイメージを通してどんな風に抽象表現に生かしていくか」を考えさせる発問を工夫し、授業の組み立てを考えていきたい。